



千住真理子

ヴァイオリン・リサイタル

Program

黒人霊歌：アメイジング・グレイス

J.S.バッハ：G線上のアリア

パッヘルベル：カノン

カッチーニ：アヴェ・マリア

エルガー：愛の挨拶

クライスラー：愛の悲しみ

クライスラー：愛の喜び

クライスラー：プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ

ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲より 第18変奏

ドルドラ：想い出

マスネ：タイスの瞑想曲

デ・クルティス/千住 明 編：帰れソレントへ

ゲーゼ/千住 明 編：ジェラシー

カタロニア民謡：鳥の歌

スコットランド民謡/千住 明 編：蛍の光

モンティ：チャルダッシュ

※曲目が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ピアノ：山洞 智

2025

10.24(金)

開演 19:00 開場 18:30

和歌山県民文化会館 小ホール

©Kiyotaka Saito (SCOPE)

5,000円 プレミアム [全席指定]

※未就学児入場不可 一時保育(有料)をご希望の方は、公演の8日前までお申込ください。

●チケット販売

一般販売(プレイガイド)令和7年8月1日(金)10時～

けんぶん友の会先行電話予約：令和7年7月25日(金)10時～



【プレイガイド】

- 和歌山県民文化会館 073-436-1531
- ローソンチケット (Lコード:52485)

*和歌山県民文化会館でご予約いただいた入場券は、次の施設でもお引き取りできます。

- 粉河ふるさとセンター 0736-73-3312
- かつらぎ総合文化会館 0736-22-0303
- 県立橋本体育館 0736-32-9660
- 御坊市民文化会館 0738-23-4881
- 紀南文化会館 0739-25-3033



主催／和歌山県、一般財団法人和歌山県文化振興財団
お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL:073-436-1331



デビューから50年のヴァイオリニスト人生。

山あり谷ありの険しい道のりを、疾走したり歩いたり、
時に道に迷い遭難すればひとに助けられ、涙流せば友達がそばにいてくれた。

苦楽を共にした父母も恩師も、今はもういないけど、
相棒ストラディヴァリウス“デュランティ”がいてくれる。

いま奏でる音は、この50年のわたしの全て。

この音色をあなたの心に届けたい。精一杯の「ありがとう」をこめて――

千住 真理子

Mariko Senju (Violin)

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。これまでに多くのCDをリリース。最近では2023年山田洋次監督作品「こんにちは、母さん」のサウンドトラックに参加。また千住明のプロデュースによるアルバム「ARIAS」、2024年はデビュー当時の音源も収録した「ベスト&レア」アルバムをリリース。2025年はデビュー50周年を迎え全国で演奏会を行う。春にはデビューアルバムと同じCD「メンデルスゾーン&チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲」を発売。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ
<https://marikosenju.com/>



山 洞 智 Satoshi Sando (Piano)

4歳からピアノを14歳から作曲を学ぶ。1993年東京芸術大学大学院修了。90年大学より安宅賞受賞。91年第60回日本音楽コンクール作曲部門首位、あわせて安田賞受賞。その後フランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院にてさらに研鑽を積む。

作曲と演奏の双方にわたり活動を展開、また両者をつなぐ新曲の初演も多数。ピアニストとしては独奏以外でも、とくに室内楽分野で内外のトップアーティストの共演者として絶大な信頼を寄せられている。

97年8月に帰国。98年8月には国際交流基金派遣で南米ブラジル、アルゼンチンの各地まで演奏旅行にでかける。現在、東京音楽大学准教授、東京芸術大学非常勤講師。

